



内閣府「未来技術社会実装事業」に四條畷市が選定されました



地域課題の解決に向け、地域団体、企業、大学等が参画する「日本一前向き！」コンソーシアム設立総会

概要説明

四條畷市は、地域の課題を AI、IoT や自動運転、ドローン等の未来技術を活用し解決を図ることを目的にした、内閣府「未来技術社会実装事業」に応募し全国 12 事業の中の 1 つとして採択されました。

提案タイトルは「けいはんな学研区域（田原地域）における地域主体の持続可能なまちづくり」とし、田原地域における 3 つの課題に対して未来技術を活用し、産官学と住民・地域コミュニティが参画し解消していきます。

田原地域における 3 つの課題「公共交通手段の確保・維持」「買い物に関する不便解消」「地域における住みよさの持続化」に対し、自動運転サービスの導入や自宅にいながら買い物ができるサービスの構築、エリア全体を未来都市に向けた都市 OS の構築などを計画し、2024 年の実装をめざします。

今後、地域課題の解消に向け地域住民、大学、企業が中心となり令和 2 年 2 月に設立した「日本一前向き！」コンソーシアム、関係機関や内閣府職員が参画した地域実装協議会などと協力、連携し各種サービスの実装に向け検討していきます。

問い合わせ

電話 0743-78-0175
田原支所 担当：笹田